第 169 回 日本循環器学会東北地方会

プログラム

会 期:令和元年12月7日(土)午前8時55分より

会 場:仙台国際センター

仙台市青葉区青葉山 TEL 022 (265) 2211 (代表)

第1会場:橘 (2F) 第2会場:萩 (2F) 第3会場:白橿1 (3F) 第4会場:白橿2 (3F)

第5会場:小会議室1 (1F) 第6会場:小会議室2 (1F)

会長 下川 宏明

事務局:東北大学 循環器内科学 仙台市青葉区星陵町1-1 TEL 022 (717) 7153 FAX 022 (717) 7158

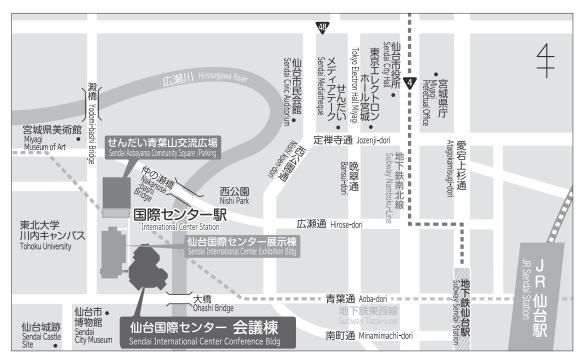
○当日受付にて参加費のお支払いをお願いいたします。

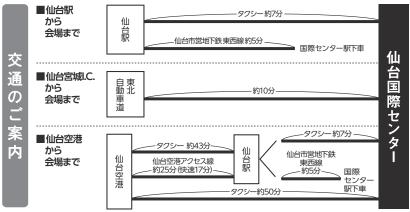
(医師/その他 3,000円、コメディカル 1,000円、学生・初期研修医 無料)

- ○一般演題: **発表時間は5分 (予鈴4分)、追加討論2分、YIAの発表時間は7分 (予鈴6分)、 追加討論3分**とします。時間厳守をお願いします。
 - ■コンピュータープレゼンテーションによる発表のみとします。
 - Windows 版 PowerPoint 2010、2013、2016 で作成して下さい。
 - ●動画の使用は、YIA と学生・初期研修医 AWARD のみ可能です。
 - ●Macintosh及び持込PCでの発表はできません。
 - ●発表30分前までに、作成したデータをUSBメモリにいれてPC受付にお持ち下さい。
 - ●データのファイル名には演題番号(半角)に続けて発表者の氏名(漢字)を必ず付けて下さい(例:10仙台太郎.ppt)。
 - ●不測の事態に備えて必ずバックアップデータをお持ち下さい。 ※35mmスライドによる発表はできません。
- ○<u>本会場内に託児施設を設置いたします。</u> ご希望の方は東北支部HPをご参照の上、11月29日(金)までにお申し込みください。
- ○学術集会(5単位)、教育セッション(3単位)とします。
- ○DVD セッション [医療安全・医療倫理に関する講演会] を第 5 会場 (1F 小会議室1) で行います。専門医認定更新に必修の2単位が取得できます。 (P.24参照)

追記:学会案内状・プログラムは、原則として日本循環器学会会費納入者に限り発送いたします。 会場にクロークの設置はございません。

交通のご案内





■仙台駅から仙台国際センターまでの交通機関

仙台市地下鉄東西線利用

料金210円 (所要時間5分)

【乗車駅】

地下鉄東西線「仙台駅」(八木山動物公園行)

【降車駅】

地下鉄東西線「国際センター駅」(「南口1」出口より徒歩1分)

※会場へは会議棟1階地下鉄駅側入口よりお入りください。

なお、展示棟入口は利用不可となります。

タクシー利用

料金 約1,000円(仙台駅より所要時間約7分)

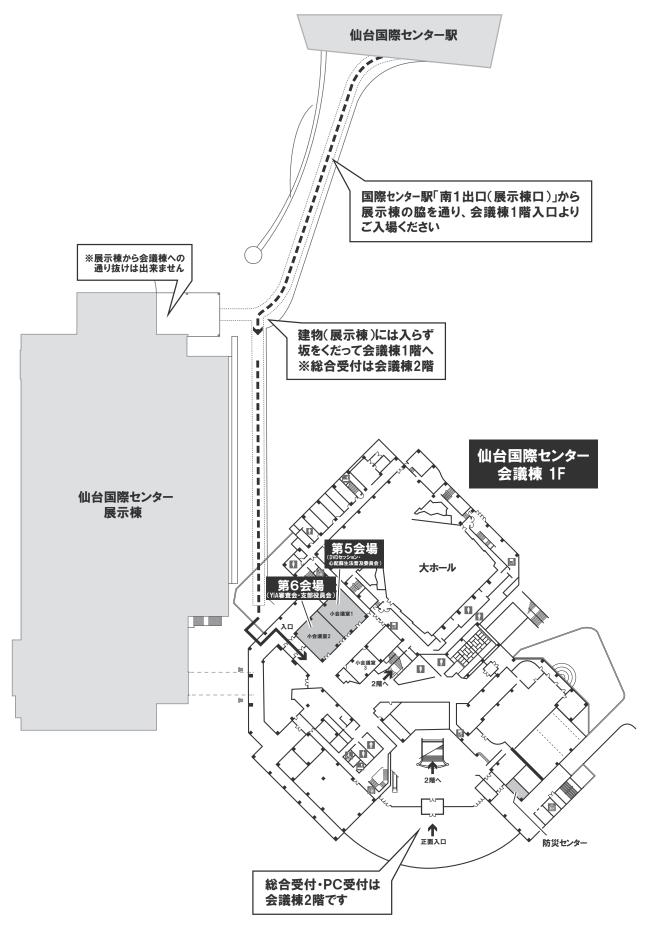
※会場へは会議棟1階正面入口よりお入りください。

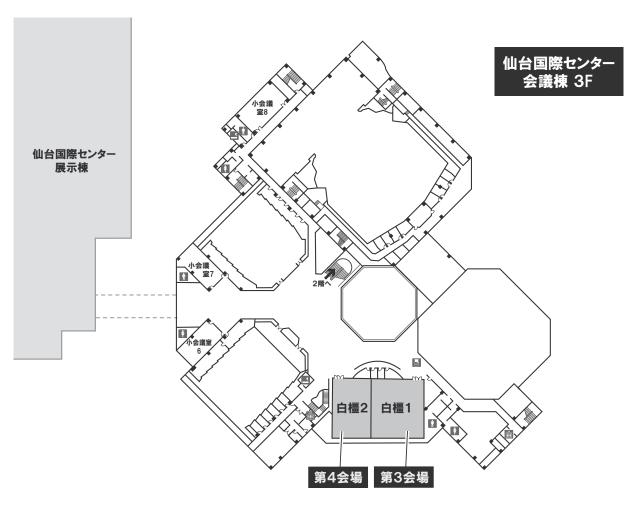
■自家用車

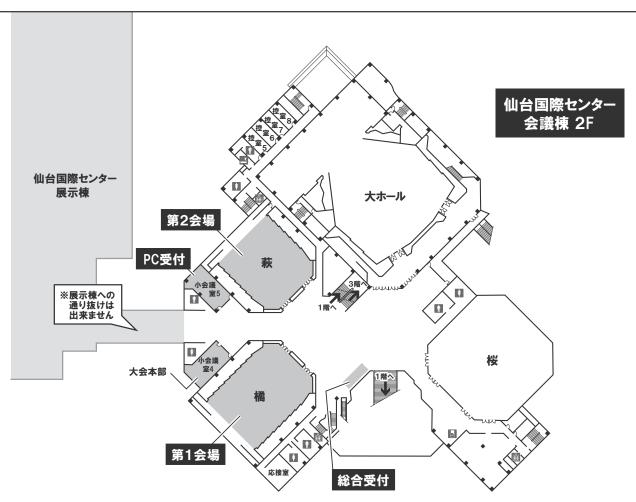
東北自動車道「仙台宮城IC」から所要時間約10分(仙台西道路経由「青葉城跡(仙台城跡)」方面の標識に従ってご走行ください)

※有料地下駐車場(収容台数96台)がございますが、できるだけ公共の交通機関をご利用ください。

会場案内図







プログラム(敬称略)

: 00	第1会場 2F 橘	第2会場 2F 萩	第3会場 3F 白橿1	第4会場 3F 白橿2	第5会場 1F 小会議室1	第6会場 1F 小会議室2
. 00	8:15~ 受付開始					
: 00	8:55~ 開会あいさつ					
	9:00~9:50 YIA 症例発表部門 座長: 下川 宏明	9:00~9:50 学生·初期研修医 AWARD 発表部門 座長:高橋 潤	9:00~9:42 心筋炎·心筋症·心不全1 座長:秋山 正年 (東北大学) 佐藤 崇匡	9:00~9:35		9:00~9:35 末梢血管・その他 座長:高橋 大 (山形大学) 羽尾 清貴 (秋田県立循環器・脳脊髄センター
_	(東北大学)	上(東北大学)	(福島県立医科大学) 9:42~10:17	9:35~10:10 不整脈 2	9:00~11:00	17/02/10/10/10/10/10/10/10/10/10/10/10/10/10/
:00	9:50~10:40 YIA 研究発表部門 座長:下川 宏明	9:50~10:25 虚血1 座長:鈴木 智人 (秋田大学) 横山 公章 (弘前大学)	心筋炎・心筋症・心不全2 座長: 牛込	座長:石田 明彦 (仙台市立病院) 武田 寛人 (太田西ノ内病院) 10:10~10:52 不整脈 3	DVD セッション(2 単位) 「医療安全・医療倫理に関する講演会」	9:50~10:20 学生・初期研修医 AWARD 審査会
_	(東北大学)	10:25~11:07	心筋炎・心筋症・心不全3 座長:山田 雅大 (弘前大学)	座長:木村 正臣 (弘前大学) 遠藤 秀晃 (岩手県立中央病院)		10:40 11:15
: 00	10.40~11.29 先天性心臓病 座長:建部 俊介	(八戸赤十字病院) 高橋 克明 - (山形県立中央病院) -	及川 雅啓 (福島県立医科大学)	10:52~11:34	11,00, 11,42	10:40~11:15 YIA 審査会 集計(10:40~11:00)
_	(東北大学)	11:07~11:42 虚血 3 座長: 国井 浩行	10:59~11:41 - 心筋炎・心筋症・心不全4- - 座長: 飯野 - 貴子	座長:寺田 健 (秋田大学)	11:00~11:42 ストラクチャー 座長:熊谷 亜希子	審査会 (11:00~11:15)
_	(宮城県こども病院)	(福島県立医科大学) 瀧井 暢 (仙台オープン病院)	(秋田大学) 三浦 正暢 (岩手県立中央病院)	尾上 紀子 (仙台医療センター) - 11:34~12:09	(岩手医科大学) 田村晴俊 (山形大学)	11:15~11:45 支部役員会
: 00				抗凝固療法 - 座長:池田 こずえ (篠田総合病院) - 白戸 崇 (東北大学病院)		11:45~12:00 心肺蘇生法普及委員会
_	12:15~12:45 支部評議員会 YIA 授賞式			(宋北八子/州坑)		
_	学生初期研修医 AWARD 授賞式					
: 00	12:50~13:50 教育セッション I - (ランチョンセミナー1)	12:50~13:50 教育セッション II - (ランチョンセミナー2)		12:50~13:50 ダイバーシティ推進委員会フォーラム (ランチョンセミナー3) 演者:肥田 頼彦 (岩手医科大学循環器内科)		
_	演者:坂田 泰彦 (東北大学大学院循環器内科)	- 演者:武田 寛人 (太田西ノ内病院循環器内科)		····谷口 達典 (大阪大学循環器内科) ···座長:八木 卓也		
_	座長:竹石 恭知 (福島県立医科大学)	座長:森野 禎浩 (岩手医科大学)		(岩手県立胆沢病院) 熊谷 亜紀子 (岩手医科大学)		
: 00	13:50~14:50 教育セッションⅢ					
_	演者:永井 良三 (自治医科大学学長)					
_	座長:下川 宏明 (東北大学)					

1:50 * 平成 27 年 12 月より、下記 3 つの会を開催します。 「支部役員会 (毎回開催)」「支部社員総会 (毎年 6 月のみ開催)」、「支部評議員会 (毎回開催)」 従来通り一般会員の先生方のご参加は可能ですが、議決権は有しません。

YIA 症例発表部門 (第1会場) 9:00~9:50

座長 下川 宏明

01 難治性心室頻拍に対し経皮的心肺補助装置サポート下に緊急カテーテルアブレーションで 救命した一例

山形大学 医学部附属病院 内科学第一講座

〇高畑 葵、有本 貴範、和根崎真大、石垣 大輔 橋本 直明、加藤 重彦、田村 晴俊、西山 悟史 宍戸 哲郎、渡邊 哲、渡辺 昌文

山形大学 医学部附属病院 先進不整脈治療学講座

沓澤 大輔

山形大学 医学部附属病院 先進心血管治療学講座

大瀧陽一郎、高橋 大

山形県立新庄病院 循環器内科 宮本 卓也

02 心嚢液貯留を併発した MPO-ANCA 陽性の大動脈周囲炎の一例

山形市立病院済生館 呼吸器内科 ○宮崎 収

山形市立病院済生館 循環器内科 屋代 祥典、中田 茂和、金子 一善、宮脇 博山形市立病院済生館 臨床研修センター

堀 聡美

03 救命し得た胃癌による致死的顕微鏡的微小肺動脈腫瘍塞栓の一例

山本 沙織、鈴木 秀明、矢尾板信裕、佐藤 遥

紺野 亮、青田 宏人、下川 宏明

04 遺伝子変異が同定された若年発症の解離性胸部大動脈瘤の一例

岩手医科大学 内科学講座 循環器内科分野

○松下 尚子、佐々木航人、山屋 昌平、兼古 恭輔 上田 寛修、肥田 頼彦、下田 祐大、安孫子明彦 森野 禎浩

05 心臓 MRI により限局性の炎症が認められた巨細胞性心筋炎の一例

弘前大学大学院医学研究科 循環器腎臓内学講座

〇相馬 宇伸、金城 貴彦、濵舘 美里、横山 公章 横田 貴、志山田雅大、木村 正臣、佐々木真吾 富田 泰史

YIA 研究発表部門 (第1会場) 9:50~10:40

座長 下川 宏明

06 心不全患者における脳活動性と不安・抑うつ・認知機能に関する検討

福島県立医科大学 循環器内科学講座

〇和田 健斗、義久 精臣、一條 靖洋、三阪 智史 金城 貴士、及川 雅啓、小林 淳、八巻 尚洋 國井 浩行、中里 和彦、石田 隆史、竹石 恭知

- 07 運動療法は機能的冠動脈疾患である冠攣縮性狭心症にも有効である
 - 無作為化前向き比較試験 -

東北大学循環器内科学 〇杉澤 潤、松本 泰治、須田 彬、土屋 聡

竹内 雅史、梶谷 翔子、佐藤 公一、進藤 智彦 池田 尚、羽尾 清貴、菊地 翼、白戸 崇

高橋 潤、下川 宏明

東北大学放射線診断科 大田 英揮、高瀬 圭 東北大学病院リハビリテーション部 秋月 三奈、上月 正博 東北大学内部障害学分野 秋月 三奈、上月 正博

08 心不全患者における P terminal force と左房容積係数の相関性について

国立病院機構仙台医療センター 循環器内科

○阿部翔太郎、高橋 佳美、江□久美子、笠原信太郎 山□ 展寛、尾上 紀子、篠崎 毅

09 急性心筋梗塞の急性期から慢性期にかけての死亡原因の変遷

仙台市医療センター 仙台オープン病院 循環器内科

〇砂村慎一郎、浪打 成人、谷田 篤史、牛込 亮一 野田 一樹、瀧井 暢

10 急性冠症候群および安定狭心症に進展し得る発症前冠動脈病変の比較検討

岩手医科大学附属病院 内科学講座 循環器内科分野

○山屋 昌平、森野 禎浩、田□ 裕哉、二宮 亮 石田 大、房崎 哲也、伊藤 智範、木村 琢巳

学生·初期研修医 AWARD 発表部門 (第 2 会場) 9:00 ~ 9:50

座長 高橋 潤

11 急激に増大する右肝動脈感染瘤を合併した感染性心内膜炎の一例

山形大学医学部附属病院 卒後臨床研修センター

○渡邉 礼子

山形大学医学部附属病院 先進不整脈治療学講座

沓澤 大輔

山形大学医学部附属病院 第一内科

豊島 拓、橋本 直明、加藤 重彦、和根崎真大 大瀧陽一郎、田村 晴俊、西山 悟史、高橋 大 有本 貴範、渡邊 哲、渡辺 昌文

12 疣贅と類似した構造物を認めた、粘液腫様変性に伴う急性大動脈弁閉鎖不全症の1例

東北大学 医学部医学科

○佐藤 庍

東北大学病院 循環器内科

鈴木 秀明、佐藤 遥、矢尾板信裕、山本 沙織 福井 重文、建部 俊介、杉村宏一郎、下川 宏明

13 塞栓源不明脳塞栓症(ESUS)患者における潜在性発作性心房細動(PAF)の検出について

山形市立病院済生館 臨床研修センター

○石澤 悠樹

山形市立病院済生館 循環器内科 宮脇 洋、中田 茂和、金子 一善、屋代 祥典

14 経皮的僧帽弁クリップ術と多職種介入により、入院回数が減少した高齢者心不全の一例

岩手県立宮古病院 循環器内科 ()菊池 熙人、佐々木 航、長 捺希、小田 英人

前川 裕子

岩手県立中部病院 循環器内科 臼井 雄太 岩手医科大学 内科学講座 循環器内科分野

中島祥文、森野禎浩

15 急性大動脈解離に、性差はあるか? 一当院での検討

岩手医科大学 医学部 3 年生 ○髙橋 空、寺田明輝、園部和樹、佐藤祐真 岩手医科大学 内科学講座 循環器内科分野

伊藤 智範、安孫子明彦、森野 禎浩

岩手医科大学 医学教育学講座 地域医療学分野

伊藤 智範

先天性心臓病 (第1会場) 10:40~11:29

座長 建部 俊介 木村 正人

16 高度な右室肥大による流出路閉塞機転を認めた重症肺動脈狭窄症の一例

山形大学医学部附属病院 第一内科

〇西山 悟史、黒川 佑、高畑 葵、志鎌 拓 土屋 隼人、須貝 孝幸、高橋 徹也、橋本 直明 橋本 直土、石垣 大輔、大瀧陽一郎、和根崎真大 沓澤 大輔、加藤 重彦、田村 晴俊、有本 貴範 高橋 大、宍戸 哲郎、渡邉 哲、渡辺 昌文

17 70 歳台で発見され修復術が行われた右室二腔症の一例

弘前大学 循環器腎臓内科学講座

○濱舘 美里、遠藤 知秀、西崎 史恵、花田 賢二 横山 公章、横田 貴志、山田 雅大、富田 泰史

18 経食道心エコーが診断に有用であった感染性心内膜炎を再発した遺残 VSD の 1 例

東北大学 循環器内科学

〇山本 沙織、建部 俊介、杉村宏一朗、鈴木 秀明 矢尾板信裕、佐藤 遥、青田 宏人、佐藤 公雄 福井 重文、下川 宏明

個开 里久、17月 丛奶

19 当院での AMPLATZER 閉鎖栓による PDA 閉鎖術の治療成績

岩手医科大学附属病院 循環器内科

○佐々木航人、上田 寛修、高橋 信、山屋 昌平 兼古 恭輔、松下 尚子、肥田 頼彦、下田 祐大 森野 禎浩

20 肺高血圧合併心房中隔欠損症に対してカテーテル閉鎖術を施行した症例

東北大学 循環器内科学

〇山本 沙織、福井 重文、杉村宏一郎、建部 俊介 鈴木 秀明、矢尾板信裕、佐藤 遥、青田 宏人 佐藤 公雄、下川 宏明

21 右室 3D Speckle Tracking法により術後の右室リバースリモデリングを評価し得たファロー 四徴症の一例

秋田大学医学部附属病院 循環器内科

小林 雄紀、飯野 貴子、関 勝仁、佐藤 和奏 佐藤 輝紀、鈴木 智人、寺田 健、飯野 健二 渡邊 博之

22 体心室機能低下・機能的僧帽弁閉鎖不全の進行した修正大血管転位症に弁置換術および CRT を施行した 1 例

東北大学病院 心臓血管外科 〇鈴木 智之、秋山 正年、熊谷紀一郎、高橋 悟朗

吉岡 一朗、鈴木 佑輔、前田 恵、佐々木康之輔

建部 俊介、中野 誠、齋木 佳克

東北大学病院 循環器内科 下川 宏明

虚血1 (第2会場) 9:50~10:25

座長 鈴木 智人 横山 公章

23 アルガトロバン下 PCI にて冠動脈血栓閉塞を呈した一例

公益財団法人 湯浅報恩会 寿泉堂綜合病院 研修医

〇村上 裕也

公益財団法人 湯浅報恩会 寿泉堂綜合病院 循環器内科

水上 浩行、天海 一明、谷川 俊了、金澤 正晴

24 診断に難渋した左冠動脈中隔枝単独閉塞による急性心筋梗塞の一例

仙台徳洲会病院

○御堂 真浩、福本 優作、小池 達也、上川 雄士

25 MINOCA (Myocardial infarction with non-obstructive coronary artery) が疑われた前壁中隔梗塞の一例

東北大学 循環器内科学

○青田 宏人、進藤 智彦、須田 彬、西宮 健介 神戸 茂雄、菊地 翼、白戸 崇、松本 泰治 高橋 潤、下川 宏明

26 当院における方向性粥腫切除術 (DCA) 施行症例の検討結果について

公立置賜総合病院 循環器内科 ○熊谷 遊、新関 武史、中村 元治、岩山 忠輝 北原 辰郎、池野栄一郎

27 Bentall 手術後の左右冠動脈口と人工血管吻合部の高度狭窄に PCI を施行した 大動脈炎症候群の一例

東北大学病院 循環器内科

○池田 尚平、高橋 潤、菊地 翼、須田 彬 進藤 智彦、羽尾 清貴、松本 泰治、下川 宏明

東北大学病院 心臓血管外科 吉岡 一朗、齋木 佳克

虚血 2 (第2会場) 10:25~11:07

座長 長沼雄二郎 高橋 克明

28	ステロイドが著効したと思われる難治性冠攣縮性狭心症の 1 例 岩手県立磐井病院循環器内科 〇畠山 拓志、遠藤 浩司、小野寺洋幸、鈴木 修 庄原 秀一
	岩手県立宮古病院循環器内科 小田 英人
29	アミオダロンによる破壊性甲状腺炎に伴い、冠攣縮性狭心症が誘発された一例
	総合南東北病院
30	年齢が FFR/iFR の乖離現象に与える影響の検討
	岩手県立中央病院 循環器内科 〇齊藤 大樹、安達 歩、畠山 翔翼、山田 祐道 山田 魁人、加賀谷裕太、佐藤謙二郎、金澤 正衛 三端 王帽 法茲 王塚 法茲 季見 白牡 882
	三浦 正暢、近藤 正輝、遠藤 秀晃、中村 明治 国際医療福祉大学病院 循環器内科 武田 守彦、柴 信行
21	ニボルマブ投与中に左冠動脈主幹部病変による ACS を発症し CABG を施行した一例
3 1	山形大学 医学部 第一内科 ○黒川 佑、高橋 徹也、橋本 直土、田村 晴修 西山 悟史、加藤 重彦、有本 貴範、和根崎真才 宍戸 哲郎、渡邉 哲、渡辺 昌文
	山形大学 医学部 先進心血管治療学講座
	大瀧陽一郎、高橋 大
	山形大学 医学部 先進不整脈治療学講座
	山形大学 医学部 第二外科 貞弘 光章
32	腫瘍 PET 撮影時の偶発的な心筋 FDG 集積が診断のきっかけとなった無症候性心筋虚血の 1 例
	石巻赤十字病院 臨床研修医 〇泉 圭一
	石巻赤十字病院 循環器内科 安藤 薫、小山 容、山口 竜平、田中 裕新山浦 玄斎、玉渕 智昭、山中 多聞
	山州、玄州、江州、白山、山中、夕川
	石巻赤十字病院 呼吸器内科 小林奈津希
33	経過中に反復する脳動脈塞栓症と大腿動脈塞栓症を発症した心房細動合併急性心筋梗塞の1例
	秋田県立循環器・脳脊髄センター 循環器内科
	○羽尾 清貴、天水 宏和、金山 純二、藤原理佐司 高橋 徹、阿部 芳久、堀口 聡
	秋田県立循環器・脳脊髄センター 脳神経外科
	吉田を大田の一郎では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ
	秋田県立循環器・脳脊髄センター 心臓血管外科 白戸 圭介、千田 佳史

虚血3 (第2会場) 11:07~11:42

座長 国井 浩行 瀧井 暢

34 当院での急性心筋梗塞治療における 12 誘導心電図伝送システムの有用性の検討

みやぎ県南中核病院 循環器内科 〇田中 修平、伊藤 愛剛、高橋 亮吉、井汲 陽祐 坂田 英恵、塩入 裕樹、小山 二郎、富岡 智子

東北大学 循環器内科学 下川 宏明

35 たこつぼ心筋症との鑑別に苦慮した外科手術後急性期に発症した急性冠症候群の一例 秋田大学医学部附属病院 循環器内科

〇若林 飛友、鈴木 智人、小林 雄紀、小野 優斗 佐藤 輝紀、関 勝仁、寺田 健、飯野 健二 渡邊 博之

36 Ca 拮抗薬の中断によって引き起こされた急性心筋梗塞、難治性の異型狭心症の一例

弘前大学大学院 医学研究科 循環器腎臓内科学講座

〇川村 陽介、相馬 宇伸、遠藤 知秀、西崎 史恵 花田 賢二、横山 公章、横田 貴志、山田 雅大 富田 泰史

37 経皮的コイル塞栓術で軽快しえた冠動脈瘻による狭心症の1例

竹田綜合病院 臨床研修医 〇北堀 有希

竹田綜合病院 循環器内科 中村 裕一、根橋 健、大原妃美佳、横川沙代子

鈴木 聡

竹田綜合病院 心臓血管外科 齋藤 正博、川島 大

38 Primary PCI 後の腎機能の経時的変化

仙台市医療センター仙台オープン病院 循環器内科

②浪打 成人、谷田 篤史、砂村慎一郎、牛込 亮一 野田 一樹、瀧井 暢

心筋炎・心筋症・心不全 1 (第3会場) 9:00~9:42

座長 秋山 正年 佐藤 崇匡

39 心尖部巨大血栓を合併した重症心不全の一例

公益財団法人 星総合病院 東條 華子、國分 知樹、佐久間裕也、黒沢 雄太

富田 湧介、佐藤 彰彦、松井 佑子、坂本 圭司

清野 義胤、木島 幹博、丸山 幸夫

40 植え込み型人工心臓留置に至った慢性心筋炎の1例

東北大学病院 循環器内科 一 一鈴木 秀明、佐藤 遥、矢尾板信裕、山本 沙織

福井 重文、建部 俊介、杉村宏一郎、下川 宏明

41 左室流出路狭窄による心原性ショックを呈した再発性たこつぼ型心筋症の一例

鶴岡市立荘内病院循環器科 一千葉 春輝、若杉 嵩幸、渡辺 智、佐藤 匡

小島 研司

日本海総合病院 循環器内科 菅原 重生

42 尿酸値が慢性心不全患者の予後に及ぼす影響の検討 -CHART-2 研究 -

東北大学大学院 循環器内科学 〇藤橋 敬英、坂田 泰彦、後岡広太郎、青柳 肇

山中信介、林秀華、白戸崇、杉村宏一郎

高橋 潤、下川 宏明

東北大学ビッグデータメディシンセンター

坂田 泰彦、後岡広太郎、下川 宏明

東北大学循環器 EBM 開発学 宮田 敏、下川 宏明

43 貧血と心不全発症の関係

国立病院機構仙台医療センター 循環器内科

○内藤 朱美、阿部翔太郎、高橋 佳美、笠原信太郎 江□久美子、山□ 展寛、尾上 紀子、篠崎 毅

44 一家 4 人で救急外来を受診したトリカブト中毒

平鹿総合病院 循環器内科 () 佐藤 雅之、武田 智、小松 真恭、林﨑 義映

中嶋 壮太、深堀 耕平、伏見 悦子、高橋 俊明

平鹿総合病院 臨床研修医 佐藤 優、安齋 潤

心筋炎・心筋症・心不全 2 (第3会場) 9:42~10:17

座長 牛込 亮一 山本 沙織

45 トラスツズマブによる薬剤誘発性心筋症の 1 例

國分 智樹、松井 佑子、坂本 圭司、清野 義胤

木島 幹博、丸山 幸夫

46 左室緻密化障害様の形態を伴った 2 尖弁大動脈弁狭窄症の 1 例

公益財団法人 星総合病院 循環器内科

○室田 定洋、佐藤 彰彦、佐久間裕也、冨田 湧介

黒沢 雄太、國分 知樹、松井 佑子、坂本 圭司

清野 義胤、木島 幹博、丸山 幸夫

47 リウマチ熱による非代償性心不全を生じた一例

福島県立医科大学

○小河原 崚、八巻 尚洋、関根虎之介、武藤 雄紀

佐藤 崇匡、中里 和彦、石田 隆史、竹石 恭知

48 病理部との連携により迅速心筋生検診断し得た左室原発悪性リンパ腫の一例

秋田大学大学院医学系研究科 循環器内科学

○田代 晴生、飯野 貴子、貝森 亮太、加藤 宗

佐藤 和奏、佐藤 輝紀、関 勝仁、鈴木 智人

寺田 健、飯野 健二、渡邊 博之

49 急速な転帰を辿り、腫瘍塞栓機序が疑われた肺高血圧症の一例

坂田 英恵、伊藤 愛剛、塩入 裕樹、小山 二郎

富岡 智子

心筋炎・心筋症・心不全3 (第3会場) 10:17~10:59

座長 山田 雅大 及川 雅啓

50 野生型 ATTR 型心アミロイドーシスの 2 症例

市立秋田総合病院 循環器内科 〇大髙 麻子、仙場 志保、藤原美貴子、柴原 徹藤原 敏弥

秋田大学大学院医学系研究科 循環器内科学講座

飯野 健二、渡邊 博之

51 ステロイド治療により左室駆出率が改善した心サルコイドーシスの一例

岩手医科大学 医学部 循環器内科

川上 淳、大和田真玄、小松 隆、芳沢 礼佑中村真理恵、森野 禎浩

52 心筋生検、消化管生検、剖検で診断された高齢者心アミロイドーシスの 4 症例

東北労災病院 循環器内科

○髙橋 浩彦、宇塚 裕紀、高橋貴久代、田中 光昭

53 肥大型心筋症疑いとしてフォローされ心筋生検でトランスサイレチン型心アミロイドーシスと確定 診断した一例

東北医科薬科大学 内科学第一(循環器内科)

〇黒瀬 裕樹、亀山 剛義、長谷川 薫、菊田 寿 住吉 剛忠、関口 祐子、山家 実、菅井 義尚 中野 陽夫、熊谷 浩司、小丸 達也

東北医科薬科大学 地域医療学 (総合診療科)

大原 貴裕

54 トランスサイレチン型心アミロイドーシスに対してタファミジスメグルミン投与を開始した 1 症例 地方独立行政法人 山形県・酒田市病院機構 日本海総合病院

○枝村 峻佑、近江 晃樹、佐藤 陽子、桐林 伸幸 菊地 彰洋、禰津 俊介、門脇 心平、横山 美雪 菅原 重生

55 思春期の左室肥大で発見され、青年期に心不全発症したダノン病の1例

東北大学病院 循環器内科 ○鈴木 秀明、佐藤 遥、矢尾板信裕、山本 沙織 福井 重文、建部 俊介、杉村宏一郎、下川 宏明

心筋炎・心筋症・心不全 4 (第3会場) 10:59~11:41

座長 飯野 貴子 三浦 正暢

56 左室緻密化障害に多発性嚢胞腎を合併した 2 症例

阪本 亮平、五十嵐知規

57 敗血症に伴う一過性心筋障害により急性心不全を来した1例

須賀川病院 〇寶槻 優、津田 達徳

58 重症大動脈弁狭窄症に対する TAVI 後も濃厚な心不全管理を要した ATTR 型心アミロイドーシス合併例

福島県立医科大学 医学部 循環器内科

○武藤 雄紀、國井 浩行、片平 正隆、阿部 諭史

山田 慎哉、及川 雅啓、小林 淳、石田 隆史

竹石 恭知

福島県立医科大学 医学部 心臓血管外科

藤宮 剛、瀬戸 夕輝、高瀬 信弥、横山 斉

59 無症候性完全房室ブロックで発症した心サルコイドーシスの1例

青森県立中央病院 循環器科 ②舘山 俊太、濱浦 奨悟、米倉 学、鈴木 晃子

櫛引 基、今田 篤

60 収縮期僧帽弁前方運動に伴う僧帽弁閉鎖不全症に対しシベンゾリンが著効した閉塞性肥大型

心筋症の1例

東北医科薬科大学 内科学第一(循環器内科)

亀山 剛義、黒瀬 裕樹、長谷川 薫、菊田 寿

住吉 剛忠、関口 祐子、山家 実、菅井 義尚

中野 陽夫、熊谷 浩司、小丸 達也

東北医科薬科大学病院 総合診療科 大原 貴裕

61 乳がん患者における抗がん剤種による心筋障害の画像評価

建部 俊介、宮田 敏、坂田 泰彦、下川 宏明

東北大学放射線診断学
大田 英揮、高瀬 圭

東北大学 乳腺内分泌外科学 多田 寛、石田 孝宣

不整脈 1 (第 4 会場) 9:00~9:35

座長 大和田真玄 有本 貴範

62 皮下植え込み型除細動器 (S-ICD) の不適切作動を複数回認めた肥大型心筋症の一例

諸沢 薦、三木 景太、下川 宏明

63 心肺蘇生後に器質的狭窄を伴う冠攣縮性狭心症と診断された右胸心に皮下植込み型除細動器 移植術を行った症例

岩手医科大学 内科学講座 循環器内科分野

中村真理絵、芳沢 礼佑、佐々木航人、山屋 昌平 兼古 恭輔、川上 淳、上田 寛修、肥田 頼彦

下田 祐大、大和田真玄、小松 隆、森野 禎浩

総合花巻病院 第三内科 椚田 房紀

盛岡赤十字病院 循環器内科 田中健太郎、小島 剛史、小澤 真人

64 心機能良好な完全左脚ブロックから房室ブロックに進行し心室細動となった1例

秋田大学大学院医学系研究科 循環器内科

〇鵜沼 真由、寺田 健、田村 善一、楡井 周作 佐藤 輝紀、佐藤 和奏、飯野 貴子、関 勝仁

鈴木 智人、飯野 健二、渡邊 博之

65 心室細動を発症した両大血管右室起始症症例

東北大学循環器内科学 循環器内科 〇中野 誠、相澤健太郎、長谷部雄飛、諸沢 薦 林 秀華、下川 宏明

66 ブルガダ用心電図波形を伴う高度徐脈を呈した高齢女性の一例

岩手県立中央病院 循環器内科 〇沖村 聖人、三浦 正暢、山田 祐資、安達 歩 畠山 翔翼、山田 魁人、加賀谷裕太、齊藤 大樹 佐藤謙二郎、金澤 正範、近藤 正輝、遠藤 秀晃

中村 明浩

不整脈 2 (第4会場) 9:35~10:10

座長 石田 明彦 武田 寛人

67 Ultra High-resolustion Mapping SystemRHYTHMIA を用いて治療を行った右室流入路 起源心室性期外収縮の 2 症例

仙台厚生病院 循環器内科

〇富樫 大輔、筬井 宣任、田中 直之、須知 太郎 大友 達志

68 左室後乳頭筋起源心室性期外収縮に対して深鎮静呼吸管理下でのカテーテルアブレーションが 奏効した一例

東北大学 循環器内科学

○長谷部雄飛、林 秀華、諸沢 薦、相澤健太郎 中野 誠、下川 宏明

69 左側副伝導路を 2 本有した WPW 症候群の一例

岩手県立中央病院 循環器内科 〇近藤 正輝、畠山 翔翼、安達 歩、山田 祐資

山田 魁人、加賀谷裕太、佐藤謙二郎、齊藤 大樹 金澤 正範、三浦 正暢、遠藤 秀晃、中村 明浩

野崎 英二

70 持続性心房細動における肺静脈隔離後の rotor と左房低電位領域の関係

東北医科薬科大学 循環器内科 ○熊谷 浩司、菅井 義尚、住吉 剛忠、長谷川 薫

関口 裕子、菊田 寿、亀山 剛義、山家 実

中野 陽夫、小丸 達也

71 心房中隔欠損孔周囲を旋回する心房頻拍に対してアブレーションを施行した Fallot 四徴症術後の一例

弘前大学医学部附属病院 高度救命救急センター

○金城 貴彦、西崎 公貴

弘前大学医学部 医学研究科 循環器腎臓内科

木村 正臣、堀内 大輔、伊藤 太平、外山 佑一 要 致嘉、佐々木真吾、富田 泰史

不整脈 3 (第 4 会場) 10:10~10:52

座長 木村 正臣 遠藤 秀晃

72 当院で経験した LQT7(Andersen-Tawil 症候群) の一例

岩手県立中央病院 循環器内科 〇山田 祐資、中村 明浩、遠藤 秀晃、近藤 正輝 三浦 正暢、金澤 正範、佐藤謙二郎、齊藤 大樹 加賀谷裕太、山田 魁人、安達 歩、畠山 翔翼 野崎 英二

73 ペースメーカーリード抜去後に再発した完全房室ブロックの一例

地方独立行政法人 山形県・酒田市病院機構 日本海総合病院 循環器内科

〇小井戸一貴、桐林 伸幸、大橋 尚人、千葉 春輝 枝村 峻佑、横山 美雪、門脇 心平、禰津 俊介 菊地 彰洋、佐藤 陽子、近江 晃樹、菅原 重生

74 洞不全症候群による失神を呈した、甲状腺機能低下症合併多系統萎縮症患者の一例 医療法人 社団 仁明会 齋藤病院

○盛田 真樹

75 多彩な心房性不整脈を呈した心アミロイドーシスの一例

福島県立医科大学 循環器内科 〇佐久間真悠、上岡 正志、肱岡奈保子、山田 慎哉 竹石 恭知

福島県立医科大学 心臓調律制御医学講座

金城 貴士

76 顕性 WPW 症候群によりマスクされていた完全房室ブロックの一例

岩手県立胆沢病院 循環器内科 循環器内科

〇山本 惟彦、八木 卓也、渡部 希美、井筒 大人 小野瀬剛生、野崎 哲司、中川 誠

77 高周波カテーテルアブレーション(広範囲肺静脈隔離術)直後に右横隔神経麻痺を来した発作 性心房細動 3 症例

東北医科薬科大学 医学部 内科学第一(循環器内科)

〇菅井 義尚、熊谷 浩司、黒瀬 裕樹、長谷川 薫 菊田 寿、住吉 剛忠、関口 祐子、亀山 剛義 山家 実、中野 陽夫、小丸 達也

血栓症・塞栓症 (第4会場) 10:52~11:34

座長 寺田 健 尾上 紀子

78 特発性コレステロール塞栓症の一例

公立刈田綜合循環器科 ○宮下 武彦、中潟 寛、河部 周子、片平 美明

79 発作性心房細動による腎梗塞の一例

小白川至誠堂病院 内科 〇大江 正敏、櫻井 克彦、小林 公

80 心房細動により脳梗塞と心筋梗塞を同時に発症した一例

東北医科薬科大学病院 内科学第一(循環器内科)

〇田島 亮、菊田 寿、長谷川 薫、住吉 剛忠 関口 裕子、亀山 剛義、山家 実、菅井 義尚 中野 陽夫、熊谷 浩司、小丸 達也

81 リバロキサバンによる治療が有効であった急性下肢動脈閉塞の一例

栗原市立栗原中央病院 循環器内科

○尾形 剛、矢作 浩一、深澤恭之朗、平本 哲也

82 頭蓋内出血の既往のある心房細動患者に経皮的左心耳閉鎖術を行なった一例

岩手医科大学 内科学講座循環器内科分野

○中島 祥文、芳沢 礼佑、熊谷亜希子、芳沢美知子 山屋 昌平、六本木 啓、田代 敦、朴澤麻衣子 森野 禎浩

83 急性心筋梗塞による心肺停止から蘇生後に脊髄梗塞を合併した一例

山形県立中央病院 循環器内科 () 高橋 克明、永井 貴之、木下 大資、長谷川寛真 佐々木真太郎、大道寺飛雄馬、玉田 芳明、福井 昭男 松井 幹之、矢作 友保

抗凝固療法 (第4会場) 11:34~12:09

座長 池田こずえ 白戸 崇

84 門脈血栓症に直接経口抗凝固薬 (DOAC) が著効した2症例

宮城県立がんセンター 循環器内科

○加藤 浩

85 深部静脈血栓症で入院した重症筋無力症の1例

秋田県立循環器・脳脊髄センター

○天水 宏和、高橋 徹、金山 純二、羽尾 清貴藤原理佐子、阿部 芳久、堀□ 聡

86 卵円孔開存症と奇異性脳塞栓診療における当院の Brain-Heart Team

87 当院における経口抗凝固薬の検討

大崎市民病院 循環器内科 〇田中 智博、岩渕 薫、小沼 翔、青柳 肇 辻 薫菜子、山内 毅、圓谷 隆治、竹内 雅治

88 当院における心房細動患者に対する DOAC 使用の現状

気仙沼市立病院 循環器内科 ○及川 卓也、迫田 みく、小枝 秀仁、但木壮一郎 尾形 和則

ストラクチャー (第5会場) 11:00~11:42

座長 熊谷亜希子 田村 晴俊

89 大動脈四尖弁に経カテーテル大動脈弁留置術を施行した一例

福島県立医科大学 医学部 循環器内科

〇磯松 大介、及川 雅啓、武藤 雄紀、菅野 優紀 清水 竹史、小林 淳、國井 浩行、中里 和彦

石田 隆史、竹石 恭知

福島県立医科大学 医学部 心臓血管外科

高瀬 信弥

90 生体弁機能不全に対し Valve in Valve が有効であった 2 例

岩手医科大学 内科学講座 循環器内科分野

〇登坂 憲吾、二宮 亮、金濱 望、芳沢美知子 中島 祥文、石川 有、熊谷亜希子、房崎 哲也 森野 禎浩

岩手医科大学 心臓血管外科学講座 金 一岩手医科大学 臨床検査学講座 田代 敦

91 僧帽弁狭窄症を合併した大動脈弁置換術後機能不全に経皮的大動脈弁留置術を施行した一例

東北大学病院循環器内科学 〇井上 巧、菊地 翼、松本 泰治、土屋 耶

進藤 智彦、神戸 茂雄、西宮 健介、白戸 崇

高橋 潤、下川 宏明

大崎市民病院 循環器内科 圓谷 隆治

東北大学病院 心臓血管外科 鈴木 祐輔、熊谷紀一郎、齋木 佳克

92 高手術リスク機能性僧帽弁逆流症患者に対する MitraClip 治療の安全性・有効性について の検討

岩手医科大学附属病院 循環器内科

○芳沢美知子、中島 祥文、辻 佳子、二宮 亮 石曽根武徳、後藤 巌、熊谷亜希子、田代 敦 森野 禎浩

岩手医科大学附属病院 心臓血管外科

金 一

93 Balloon Aortic Valvuloplasty(BAV) 後に生じた感染性心内膜炎の一例

播間崇記、五十嵐知

94 カテコラミン依存性両心不全を合併した Low-Flow-Low-Gradient severe AS に対して TAVI を施行した 1 例

佐藤 公一、須田 彬、進藤 智彦、神戸 茂雄

西宮 健介、髙橋 潤、下川 宏明

東北大学 心臓血管外科学 鈴木 祐輔、熊谷紀一郎、斎木 佳克

末梢血管・その他 (第6会場) 9:00~9:35

座長 高橋 大羽尾 清貴

95 足背動脈屈曲部石灰化病変に対して足関節伸展下での CROSSER 使用が有効であった CLI 症例

秋田大学大学院 循環器内科科 〇金澤 達郎、加藤 宗、仙場 志保、田代 晴生 佐藤 和奏、佐藤 輝紀、飯野 貴子、関 勝仁 鈴木 智人、寺田 健、飯野 健二、渡邉 博之

96 孤発性上腸間膜動脈解離に対して血管内治療を行った一例

いわき市医療センター 循環器内科 〇工藤 俊、山本 義人、野木 正道、渡邊 俊介 瀬川 将人、崔 元吉、塙 健一郎、山下 文男 杉 正文

97 冠動脈拡張症を伴う再発性心筋梗塞に対して抗凝固療法が有効であった一例

みやぎ県南中核病院 循環器内科 〇井汲 陽祐、富岡 智子、高橋 亮吉、田中 修平 坂田 英恵、伊藤 愛剛、塩入 裕樹、小山 二郎

98 心不全改善後に圧格差が著明となり両側鎖骨下動脈狭窄が判明した一例

99 上腕動脈閉塞症に対し血管内治療および抗凝固療法実施し、改善した一例

学生·初期研修医 AWARD 審查会 9:50~10:20 (第6会場:1F 小会議室2)

YIA 審査会 10:40 ~ 11:15 (第6会場:1F 小会議室2)

支部役員会 11:15~11:45 (第6会場:1F 小会議室2)

心肺蘇生法普及委員会 11:45~12:00 (第6会場:1F 小会議室2)

支部評議員会·YIA 授賞式

学生初期研修医 AWARD 授賞式 12:15~12:45 (第1会場:2F 橘)

教育セッション I

ランチョンセミナー 1 12:50~13:50 (第1会場:2 F 橘)

座長:福島県立医科大学 循環器・血液内科学講座 教授 竹石 恭知 先生

「超高齢社会におけるわが国の心不全診療の現状 - CHART-2 研究からの知見 - 」 東北大学大学院医学系研究科 循環器内科学分野 准教授 坂田 泰彦 先生

> 共催:ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社 ファイザー株式会社

教育セッションⅡ

ランチョンセミナー2 12:50~13:50 (第2会場:2F 萩)

座長:岩手医科大学 内科学講座 循環器内科分野 教授 森野 禎浩 先生

「心不全患者における心房細動管理の重要性について」

太田西ノ内病院 副院長 武田 寛人 先生

共催:バイエル薬品株式会社

教育セッションⅢ

特別講演 13:50 ~ 14:50 (第 1 会場:2 F 萩)

座長:東北大学大学院医学系研究科 循環器内科学分野 教授 下川 宏明 先生

「情報時代の医学研究:要素研究とシステム研究」

自治医科大学 学長 永井 良三 先生

共催:武田薬品工業株式会社

ダイバーシティ推進委員会フォーラム

ランチョンセミナー 3 12:50 ~ 13:50 (第4会場:3F 白橿2)

座長:岩手県立胆沢病院 循環器内科長 八木 卓也 先生 岩手医科大学 内科学講座 循環器内科分野 助教 熊谷亜紀子 先生

[男女共同参画社会における循環器内科医のワーク・ライフ・バランス]

岩手医科大学内科学講座 循環器内科学分野 助教 肥田 頼彦 先生

「医師アントレプレナーという新たなキャリアパス」

大阪大学大学院医学系研究科 循環器内科 兼

株式会社リモハブ CEO 谷口 達典 先生

共催:日本メドトロニック株式会社

DVDセッション 「医療安全・医療倫理に関する講演会」

専門医の認定更新に必修の「医療安全・医療倫理に関する研修」に関する2単位を取得できるDVDセッションを開催致します。

3月の日本循環器学会学術総会もしくはインターネットでも視聴できます。詳細は以下をご 覧ください。

<必修研修と単位数>

2009年3月20日の評議員会の審議を経て循環器専門医認定更新の際に所定の研修が必修となりました。

専門医認定更新には下記の必修研修単位を含む合計50単位が必要となります。

(1) 最新医療の知識習得に関する研修……30 単位以上

日本循環器学会主催の学術集会・地方会(いずれも教育セッションを含む)への参加にて 単位を取得してください。

該当の研修単位数……本会年次学術集会 10 単位、(学術集会時の)教育セッション 5 単位、 各地方会 5 単位、(地方会時の)教育セッション 3 単位

(2) 医療安全・医療倫理に関する研修……2単位以上

本会学術集会または本会地方会で開催の「医療安全・医療倫理に関する講演会」への参加。あるいはインターネットでの視聴研修プログラムによる研修で単位を取得してください。

単位数……(上記どの方法で取得されても)2単位

※同じ研修内容を視聴された場合には重複して単位は加算されませんのでご注意ください。

お問い合わせ先: (一社) 日本循環器学会 専門医制度委員会 TEL: 03-5501-0863 E-mail: senmoni@i-circ.or.jp

一般社団法人日本循環器学会 支部規程

(総 則)

第1条 この規程は、一般社団法人日本循環器学会(以下「日本循環器学会」という)各地区の 支部(以下「各支部」という)の遵守すべき事項を定める。

(事務局)

第2条 各支部の事務局は、日本循環器学会定款施行細則に定める地区に置く。

(目的および事業)

- 第3条 各支部は日本循環器学会の目的達成のため次の事業を行う。
 - 1) 地方会の開催
 - 2)日本循環器学会国際トレーニングセンター(JCS-ITC)としての講習会等の開催
 - 3) 日本循環器学会本部からの委託事項の処理
 - 4) その他目的の達成に必要な事業

(会 員)

- 第4条 各支部の会員は、当該地区に所属する日本循環器学会の正会員および準会員とする。
 - 2. 支部名誉会員/支部特別会員/支部顧問等の設置は各支部役員会で定めることとする。

(社 員)

第5条 社員とは、日本循環器学会定款及び定款施行細則に基づき選出された各支部に所属する 社員をいう。

(支部長)

- 第6条 各支部に支部長1名を置く。
 - 2. 支部長は定款に基づき選出された支部所属理事の協議で決定し、支部社員総会において報告する。
 - 3. 支部長は支部を統括する。
 - 4. 支部長の任期は2年とし、再任を妨げない。

(支部役員)

- 第7条 各支部に支部役員を若干名置く。
 - 2. 支部役員は支部所属理事及び支部長の推薦で選出された会員とし、支部長を除いた支部役員を支部社員総会で承認する。
 - 3. 支部役員は、地方会、事業計画・報告、予算・決算、その他支部長の求めに応じて支部運営にあたる。
 - 4. 支部役員の任期は2年とし、再任は妨げない。

(支部監事)

- 第8条 各支部に支部監事を若干名置く。
 - 2. 支部監事は支部長が候補者を会員から推薦で選出し、支部社員総会で承認する。

- 3. 支部監事は支部の監査を行い、不正の事実があれば支部社員総会及び日本循環器学会本部に報告する。
- 4. 支部監事の任期は2年とし、連続して就任できる期数は3期までとする。

(支部幹事)

- 第9条 各支部に支部幹事を若干名置く。
 - 2. 支部事務局担当幹事および JCS-ITC 担当幹事の設置は必須とする。
 - 3. 支部幹事は支部長が会員から選出する。
 - 4. 支部幹事は支部長を補佐し、役員会 / 社員総会において会計報告及び JCS-ITC 業務の報告等を行う。
 - 5. 支部幹事の任期は支部長の任期に準じ、再任を妨げない。

(支部評議員)

第10条 各支部に支部評議員を置くことができる。

- 2. 支部評議員は会員から選出する。
- 3. 支部評議員は支部業務を補佐する。
- 4. 支部評議員の選出方法/任期/定年等は各支部役員会で定めることとする。

(地方会会長)

第11条 各地方会に会長1名を置く。

- 2. 地方会会長は支部役員会の推薦で選出し、支部社員総会において承認する。
- 3. 地方会会長は地方会を主催し、その経理 / 事業内容を支部役員会及び支部社員総会に報告する。
- 4. 地方会会長の任期は、主催地方会にかかる業務が完了するまでとする。

(支部役員会)

第12条 支部役員会は、支部役員で構成する。

- 2. 支部役員会は年1回以上開催し、主に以下の事項を扱う。
 - 1) 事業計画・事業報告及び予算・決算の承認
 - 2) 地方会会長の選出
 - 3) 支部運営上重要な規則の承認
 - 4) その他本支部の運営に必要な事項の確認(JCS-ITC 報告など)
- 3. 予算もしくは事業計画に大幅な変更が見込まれる場合には臨時支部役員会を開催しなければならない。
- 4. 支部役員会は支部長が招集し議長となる。ただし支部長に事故あるときは他の支部役員が招集する。この場合、議長は支部役員の協議により選出する。
- 5. 支部役員会は過半数が出席しなければ、その議事を決議できない。ただし、当該議事につき予め書面をもって意思を表示したもの、および他の支部役員を代理人として表決を委任したものは出席者とみなす。
- 6. 支部役員会の議事は出席者の多数決をもって決し、可否同数の時は議長の決するところによる。

(支部計員総会)

第13条 支部社員総会は、社員で構成する。

- 2. 支部社員総会は年1回以上開催し、主に以下の事項を扱う。
 - 1) 事業計画・事業報告及び予算・決算の確認
 - 2) 決定された支部長の確認
 - 3) 支部役員・支部監事・地方会会長の承認または解任
 - 4) 支部運営上重要な規則の確認
 - 5) その他本会の運営に必要な事項(JCS-ITC報告など)
- 3. 支部社員総会は、支部長が招集し、議長となる。ただし支部長に事故あるときは他の支部 役員が招集する。この場合、議長は支部役員の互選により選出する。
- 4. 支部社員総会は支部社員の過半数が出席しなければ、その議事を決議できない。ただし、 当該議事につき予め書面をもって意思を表示したもの、および他の支部会員を代理人として表決を委任したものは出席者とみなす。
- 5. 支部社員総会の議事は出席者の多数決をもって決し、可否同数の時は議長の決するところによる。

(支部評議員会)

第14条 支部評議員会は、支部評議員で構成する。

- 2. 支部評議員会は年1回以上開催し、以下の事項の報告を受ける。
 - 1) 予算・決算
 - 2) 事業計画および事業報告
 - 3) 地方会会長及び地方会開催地
 - 4) 支部長の選出結果
 - 5) その他本会の運営に必要な事項(JCS-ITC 報告など)
- 3. 支部評議員会は、支部長が招集し、議長となる。ただし支部長に事故あるときは他の支部役員が招集する。この場合、議長は支部役員の協議により選出する。

(支部事務局業務)

- 第15条 支部事務局業務とは、支部役員会、支部社員総会、支部評議員会の運営、各事業の補助 等をいう。
 - 2. 支部事務局業務は、原則支部年会費収入の範囲内で収支均衡に努めなければならない。
 - 3. 支部事務局業務にかかる経費精算の職務権限について、予算内経費精算は、支部事務局担 当幹事による確認を必要(事後確認可)とする。予算枠外使用については、20万円未満 が支部長承認、20万円以上が支部役員会承認を事前に必要とする。
 - 4. 各支部は全事業の会計報告を毎月すみやかに本部事務局に報告することとする。

(地方会)

第16条 各支部は地方会を年1回以上開催する。

- 2. 地方会に演題を提出する者は原則として会員でなければならない。
- 3. 地方会収支について、原則、収入の範囲内で費用支出を行うこととし、収支均衡に努めなければならない。
- 4. 地方会において新たな試みを実施する場合は、事前に地方会会長と支部長で協議を行うこととする。

- 5. 地方会における参加費等の現金取り扱いについて、不正や過誤が発生しない体制を整えなければならない。
- 6. 地方会の経費精算は、地方会会長もしくは会長が定めた者が内容を確認したうえで実施する。なお全ての精算を原則地方会終了後2ヵ月以内に完了させること。

(JCS-ITC 講習会)

第17条 各支部は JCS-ITC 講習会を JCS-ITC 担当幹事が計画を取り纏め、開催する。

- 2. 講習会収支について、原則収入の範囲内で費用支出を行うこととし、収支均衡に努めなければならない。
- 3. JCS-ITC 講習会に関わる経費精算の職務権限について、予算内経費精算は、JCS-ITC 担当幹事による確認を必要(事後確認可)とする。予算枠外使用については、20 万円未満が支部長承認、20 万円以上が支部役員会承認を事前に必要とする。

附則

- 1) 本規則は、平成 27 年 2 月 1 日から試行期間とし、平成 28 年 4 月 1 日から完全実施とする。
- 2) この規程の改廃は日本循環器学会理事会の議決を経なければならない。

支部コンプライアンス・倫理規程

(目的)

第1条 この規程は、一般社団法人日本循環器学会全支部(以下「支部」という)におけるコンプライアンスに関し基本となる事項を定め、もって健全で適正な学会運営及び社会的信頼の維持に資することを目的とする。

(定義)

- 第2条 この規程において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。
 - 1) コンプライアンスとは、法令、各支部の諸規則を遵守することをいう。
 - 2) 支部役職者とは、支部に所属する支部長・支部役員・支部監事・支部幹事・地方会会長をいう。
 - 3) 支部職員とは、支部の事務を担当する職員をいう。
 - 4) コンプライアンス事案とは、支部の構成員にかかわる法令又は定款等の本学会諸規則や支部会則等に違反、または違反するおそれのある事案をいう。

(支部役職者及び支部職員の責務)

- 第3条 支部役職者・支部職員は、支部の定める理念および目標を実現するため、それぞれの責任を自覚し、コンプライアンスの重要性を深く認識するとともに、人権を尊重し、高い 倫理観を持って行動しなければならない。
 - 2. 支部役職者・支部職員は、次に掲げることを理由として、自らのコンプライアンス違反行為の責任をのがれることはできない。
 - 1) 規程について正しい知識がなかったこと
 - 2) 規程に違反しようとする意思がなかったこと。
 - 3) 支部の利益に資する目的で行ったこと

附則

- 1) 本規則は、平成27年2月1日から試行期間とし、平成28年4月1日から完全実施とする。
- 2) この規程の改廃は日本循環器学会理事会の議決を経なければならない。

一般社団法人日本循環器学会 東北支部運営内規

平成 28 年 4 月 1 日施行 平成 30 年 6 月 2 日改定

(総則)

第1条 この内規は、一般社団法人日本循環器学会支部規程を東北支部(以下「本支部」という。) において運用するために必要な事項を規定し、円滑な学会活動を推進することを目的と する。

(支部事務局)

第2条 本支部における支部事務局を東北大学大学院医学系研究科循環器内科学内に設置する。

(支部長・副支部長)

- 第3条 2年毎に行われる理事選出選挙の後、第6条2項に沿い支部長を決定するが、支部長の任期開始日は4月1日からとする。
 - 2. 支部長は、「支部コンプライアンス・倫理規程」を確認し、その内容を遵守しなければならない。
 - 3. 支部長が本支部とは別の支部に異動した場合、支部長として退任となる。
- 第4条 本支部に副支部長1名を置く。
 - 2. 副支部長は支部所属理事の中から協議で決定し、支部社員総会において報告する。
 - 3. 支部長に事故あるとき、または支部長が別支部へ異動したとき、副支部長を新たな支部長とする。この場合の任期は、退任した支部長の任期に準ずる。

(支部役員)

- 第5条 支部役員は、支部規程第7条1項に沿い、支部所属理事の他、支部長推薦枠として本 支部においては、会員である東北地区7大学の循環器を担当する内科の教授が就任す ることとする。その他にも支部役員として必要な人物がいる場合は、支部長が推薦する。
 - 2. 任期中において各大学教授の交代があった場合は役員も変更となるが、就任期間は前任者を引継ぐこととする。
 - 3. 支部役員は、「支部コンプライアンス・倫理規程」を確認し、その内容を遵守しなければならない。

(支部監事)

- 第6条 支部規程第8条1項に定める支部監事の定数は、本支部においては2名とする。
 - 2. 支部規程第8条2項に定める支部監事の選出について、本支部においては、支部運営から独立性をもった者を、支部長が候補者を会員から選出することとする。なお独立性を鑑み、支部役員、支部幹事との兼務は不可とする。
 - 3. 支部監事は、「支部コンプライアンス・倫理規程」を確認し、その内容を遵守しなければならない。

(支部幹事)

- 第7条 支部規程第9条に定める支部幹事は、本支部においては支部事務局担当幹事1名、 JCS-ITC 担当幹事1名、その他幹事を若干名とし、支部役員、支部評議員との兼務も 可能とする。
 - 2. 支部幹事は、「支部コンプライアンス・倫理規程」を確認し、その内容を遵守しなければならない。
 - 3. 支部事務局担当幹事ならびに JCS-ITC 担当幹事は、それぞれの業務における月度毎の収支状況をモニタリングし、予算進捗確認を行わなければならない。予算に対し収支悪化の場合は、対策を検討し支部長へ報告すること。また収支改善の場合は、その資金活用方法について検討し支部長へ報告することとする。
 - 4. JCS-ITC 業務担当幹事は、会員かつファカルティーの中から選出することとする。ファカルティーがいない場合は会員かつコースディレクターの中から選出する。
 - 5. 支部幹事は、それぞれの業務において投資が必要な場合は、事業計画、予算において明確化し、支部役員会・支部社員総会において発言し、承認を得なければならない。

(支部評議員)

- 第8条 支部規程第10条に定める支部評議員は、支部役員1名の推薦により選出し、支部役員 会及び支部社員総会において承認する。
 - 2. 候補者は、支部役員会予定日より 15 日以前に所定の用紙を用いた履歴書、業績書及び支部役員 1 名が署名・捺印した推薦書を支部長へ提出する。
 - 3. 支部評議員会に正当な理由なく3回連続して欠席した者、退会した者、東北地区から移動した者は、支部評議員の資格を喪失する。
 - 4. 支部評議員の任期は4年とし再任は妨げない。
 - 5. 支部評議員の辞職は支部役員会及び支部社員総会において承認する。
 - 6. 支部評議員の期中での辞職については、速やかに補充を行うこととし、支部役員会にて承認した上で、後日支部社員総会において追認する。なお任期は前任者を引継ぐこととする。

(地方会会長)

- 第9条 地方会会長は、「支部コンプライアンス・倫理規程」に定められた内容を遵守しなければならない。
 - 2. 地方会会長は、「臨床研究の利益相反に関する共通指針の細則」に定められた様式の利益相反の自己申告書を支部長経由で本会へ提出しなければならない。
 - 3. 地方会会長は、地方会開催日程の決定を行う。
 - 4. 地方会の主題および演題の選定および採択は、会長が裁量する。
 - 5. 地方会実施にあたり、会長の推薦にて会長校事務局長を任命してよい。会長校事務局長は、 会長からの指示に基づき、地方会運営を補助することとする。
 - 6. 地方会運営にあたる企画会社の選定は、会長一任とするが、企画会社手数料が過多とならないことを事前に確認しなければならない。
 - 7. 地方会開催にあたり収入の受入れ、費用の精算の為、会長名において専用口座を開設しなければならない。口座開設と同時にキャッシュカードを作成する場合は、会長から使用者・保管者を指名し、それ以外のものが利用出来ない体制を構築しなければならない。
 - 8. お届け印、通帳は会長または会長が指名した者が保管する。保管にあたっては必ず施錠し、 本人のみが解錠出来る体制としなければならない。

(支部名誉会員)

- 第10条 支部規程第4条2項に定める支部名誉会員は、東北地区単独の支部社員総会において 選任する
 - 2. 支部名誉会員の被推薦資格は、支部社員総会開催日において年齢65歳以上(当日に65歳を迎える者を含む)の東北支部所属の会員であり、支部評議員を3期以上務めたものとする。
 - 3. 支部名誉会員は、支部評議員会に出席することができる。また、支部社員総会にも出席することができるが議決権は有しない。
 - 4. 支部名誉会員は、支部役員、支部幹事の兼務を不可とする。
 - 5. 支部名誉会員は、永年資格とする。
 - 6. 支部名誉会員の内、東北地方会で会長を務めた者、支部長を務めた者は、支部特別名誉会員と呼ぶ。処遇は支部名誉会員に準用する。

(支部社員総会、支部評議員会)

第11条 支部規程第13条に定める支部社員総会、支部規程第14条の支部評議員会は、同時開催することとする。

(支部事務局業務)

第12条 支部規程第15条における支部事務局業務は、事務局担当幹事を補佐し、円滑に業務を 遂行することを目的として、本業務に従事する人員を支部役員会の承認のもと採用して も構わない。雇用条件の変更がある場合は、支部役員会での承認を必要とする。

(地方会)

- 第13条 支部規程第 16 条 1 項に定める地方会について、本支部は原則として毎年 2 回地方会を 開催する。
 - 2. 地方会の名称は、第〇〇回日本循環器学会東北地方会とする。 地方会運営に関するその他の事項は地方会運営要領に定めることとする。

(JCS-ITC 講習会)

- 第14条 支部規程第17条1項に定めるJCS-ITC講習会について、本支部はJCS-ITC業務担当幹事との協議により支部事務局において事務業務(受講者への連絡、受講料受付・謝金や立替金の精算等)を行う。なお、これらの事務業務について、円滑に業務を遂行することを目的として、支部役員会の承認のもと、外部業者へ業務委託を行っても構わない。委託範囲・経済条件の変更がある場合は、支部役員会での承認を必要とする。
 - 2. JCS-ITC 講習会の事務業務については JCS-ITC 講習会事務要領に定めることとする。

附則

- 1) この内規は、平成 27 年 2 月 1 日から試行期間とし、平成 28 年 4 月 1 日から完全実施とする。
- 2) この内規改正は、支部役員会において審議し、支部社員総会にて決定する。

一般社団法人日本循環器学会 東北支部 地方会運営要領

平成 28 年 4 月 1 日施行 平成 30 年 12 月 1 日改定

この地方会運営要領は、一般社団法人日本循環器学会東北支部(以下「本支部」という)において地方会を円滑に運営するために必要な事項を規定する。

(広 報)

- 1. 地方会会長は、地方会開催日程、会場、地方会会長事務局の担当者が決まり次第、本支部へ報告する。本支部は「地方会開催連絡票」を本会へ提出するとともに、本支部ホームページに情報を掲載することとする。
- 2. 本支部地方会に関する事項は、本会の会告及びその他の手段により会員に広報する。

(会 計)

- 3. 地方会会長、または、支部事務局担当幹事は、開催前年度の支部役員会・支部社員総会に出席して、本部へ提出予定の地方会予算及び事業計画について事前に承認を得る。また、支部評議員会にて報告を行う。ただし、地方会会長の出席がかなわない場合は代理を立てることができる
- 4. 地方会参加費は、正会員 3,000 円、コメディカル 1,000 円、初期研修医無料、学部学生無料とする。参加費を変更する場合は支部役員会での承認を必要とする。
- 5. 地方会での寄付の受入は、「寄付金取扱規程」に基づき対応する。なお寄付金受入先について、本会が禁煙宣言を行っている学会であることを鑑み、本会学術集会同様、日本たばこ産業・鳥居薬品からの寄付受入は禁ずる。
- 6. 地方会において市民公開講座及び託児室設置を実施する場合は、本支部よりその経費を 補助する。ただし、上限を100万円とする。補助金は、経費内訳及び証憑書類の提出 を持って交付するものとする。
- 7. 地方会において男女共同参画セミナーを実施する場合は、本支部より講師招請経費を補助する。ただし上限を20万円とする。補助金は、経費内訳及び証憑書類の提出を持って交付するものとする。
- 8. 地方会開催にあたり開設する金融機関の□座名義は、「一般社団法人日本循環器学会 第○○回 東北地方会 会長 ○○○○ とする。
- 9. 地方会当日の現金(参加費)の取扱いについて、不正や過誤が発生しないよう関係するスタッフの教育を十分行わなければならない。
- 10. 地方会当日に徴収した参加費について、当日中に口座入金するか金庫に保管することとする。地方会終了後、翌営業日には口座入金することとする。
- 11. 教育講演の招請者への待遇について、謝金上限は演者 100,000 円 (源泉税抜)、座長 50,000 円 (源泉税抜)、交通費は実費支給とし、地方会当日、直接本人へ現金もしく は振込対応する。これ以外の対応を行う場合は、支部役員会での承認が必要とする。
- 12. 地方会で支払われた講演謝金及び会長校スタッフ臨時雇用費の源泉所得税は、地方会会 長事務局において納付対応する。なお東北支部事務局から参加したスタッフ臨時雇用費 は、東北支部事務局において納付対応する。
- 13. 地方会経費の精算は、リスク管理の観点から現金での精算を禁じ、原則請求書対応とする。請求書対応が難しい場合は、企画会社・スタッフによる立替精算を行い、後日レシートや領収書をもとに精算する。

- 14. 地方会終了後、余剰金が発生した場合、支部管轄の地方会繰越金専用□座に振り込むこととし、地方会開催に関係無い備品等の購入に充ててはならない。その後、□座は解約する。
- 15. 地方会の経費精算は、原則地方会終了後2か月以内に完了させ、入出金に係るすべての 証憑を本支部に提出しなければならない。外部の団体から助成金・補助金を受けた場合 は、交付決定通知書の控えも提出すること。
- 16. 地方会会長は、開催次年度の支部役員会・支部社員総会、支部評議員会に出席して、 地方会決算及び事業内容の報告を行う。ただし、地方会会長の出席がかなわない場合 は代理を立てることができる。

(会議)

- 17. 支部役員会を地方会当日に開催する。議案書及び議事録は本支部事務局が作成することとする。地方会会長事務局は、本支部の求めに応じて当日の受付及び配布資料の準備等を行う。
- 18. 支部社員総会、支部評議員会を地方会当日に開催する。議案書及び議事録は本支部が作成することとする。地方会会長事務局は、本支部の求めに応じて当日の受付及び配布資料の準備等を行う。
- 19. 地方会における華美な懇親会の開催を禁じる。

(演題募集)

- 20. 地方会会長は、演題募集スケジュールを決定し、「地方会演題募集ホームページ利用申請書」を本会及び本支部へ提出する。演題募集の開始日・締切日は前後に祝日のない火曜日から木曜日で設定すること。申請書の提出期限はオンライン演題募集システム利用開始の2カ月前とする。
- 21. 本支部は、オンライン演題募集システムの管理者用 ID 及びパスワードを地方会会長事務局へ通知する。なお、パスワードについては、本支部が毎年度更新することとし、変更後のパスワードを本会に通知する。
- 22. 募集締切日延長等の連絡は、混乱を避けるために必ず本会経由で行うこととする。

(専門医単位登録)

- 23. 地方会会長は、詳細が決まり次第「教育セッション開催届」ならびに「DVD セッション開催届」(DVD セッションを開催する場合に限る)を本会及び本支部へ提出しなければならない。
- 24. 地方会会長事務局は、地方会時に専門医単位登録(地方会参加5単位、教育セッション参加3単位、DVDセッション参加2単位)を行うこととするが、本会から明示された「単位登録の運営方法について」に沿って対応しなければならない。
- 25. 教育セッション及びDVDセッションの専門医単位登録は、不正やミスを防止するため、 時間を限定して行わなければならない。(例:セッション開始 1 時間(又は 30 分)前 から終了 30 分前)
- 26. DVDセッションについて、同じ内容の講演会を学術集会及びインターネットで聴講したことのある会員は、単位加算ができない。地方会会長は事前にプログラム等でその旨を告知し、当日も会場に掲示すること。

(プログラム・抄録)

- 27. プログラムは、本会会告(偶数月 25 日発行)への抱き合わせで本支部会員へ発送することができる。希望する場合は、「地方会プログラム冊子抱合発送申請書」を本会及び本支部へ提出すること。プログラム以外の発送物(チラシ等)があれば、その内容を申請書に明記すること。申請書の提出期限は、会告発行 1 か月前とする。
- 28. 抄録については、冊子発行を行わず本会ホームページに掲載する。本会ホームページ への掲載にあたり、抄録著者による校正は行わない。訂正等がある場合には、地方会 終了後速やかに本会へ連絡することとする。なお、地方会会長事務局は、その旨をプログラムに記載し会員に告知すること。
- 29. プログラム完成後、本支部へ2部、本会へ5部を送付すること。
- 30. 地方会会長は、抄録データを本会に提出しなければならない。当日発表されなかった 演題は抄録データとして扱わない。

(演題発表)

- 31. 地方会演者は、発表前のスライドにおいて定められた様式「利益相反の自己申告書」を提示する必要がある。
- 32. 日本循環器学会東北地方会 Young Investigator's Award について
 - 1) 当支部は、東北地区の循環器病学の発展と優秀な若手循環器専門医の育成を目的として、「日本循環器学会東北地方会 Young Investigator's Award」(東北地方会 YIA「症例発表部門」「研究発表部門」)を設ける。
 - 2) 東北地方会 YIA の応募資格、応募方法、演題応募要領は以下に記載する。ただし、地方会主催の当番校会長の裁定をもって変更は許可されるものとする。
 - ①応募資格

日本循環器学会員であり、各地方会開催日において満 35 歳以下の方。 東北地方会において過去に YIA を受賞した者は、最優秀賞・優秀賞を問わず、同じ 部門への再応募はできない。他部門への申請は可とする。

②対象演題

日本循環器学会東北地方会で行われた循環器学に関する臨床・基礎研究、且つ、症例報告を受け付ける。発表時点で印刷公表されていない演題内容を対象とする。ただし、応募者は筆頭演者でありその内容に中心的役割を果たしたものであることを必要とする。他の学会賞への応募と重複しないこととし、各部門毎に1施設2題(ただし1科1演題)までの応募とする。本 YIA は症例発表部門と研究発表部門それぞれで選考と表彰を行う。

③選考方法

地方会演題募集時に YIA 応募希望を募り、地方会開催時には希望演題のみを対象とする YIA セッションを設ける。選考委員は本セッションに参加し、引き続き開催される YIA 審査委員会において厳重な審査を行う。症例発表部門と研究発表部門それぞれで最優秀賞 1 名および優秀賞若干名選定する。なお、希望演題数が各部門 5 題を超えた場合は、予め選考委員による第一次審査を行う。

4会長奨励賞

Y | A希望演題の内、一般病院の演題から1題を会長奨励賞としてあらかじめ選出しておき、当日表彰が行われる旨を演者に通知する。ただし、この演題がY | A最優秀賞または優秀賞に選出された場合はY | Aを優先し、その回の会長奨励賞はなしとする。

⑤応募方法

6)當

部門毎に最優秀賞1名(賞金10万円)および優秀賞若干名(賞金5万円)と表彰状。 同点の場合は要検討とする。会長奨励賞は1名(賞金5万円と表彰状)。

⑦締切り

- 一般演題締切日と同日とする。一次審査後採択されなかった場合は、自動的に一般 演題に採択される。
- 3) YIA 選考委員会は大会長を選考委員長として、各県大学の循環器内科教授6名と大会長が選出する6名の選考委員の計12名で構成される。ただし、宮城県に於いては東北大学と東北医科薬科大学の教授が交代で務めることとする。選考委員に代理を置く場合は、教授選考員の場合は教室の准教授または講師に委託し、その他の6名の選考委員については大会長が再度選出する。
- 33. 日本循環器学会東北地方会 学生・初期研修医 AWARD について
 - 1) 当支部は、東北地区の循環器病学の発展と優秀な若手循環器専門医の育成を目的として、 「日本循環器学会東北地方会学生・初期研修医AWARD」を設ける。
 - 2) 東北地方会 学生・初期研修医 AWARD の応募資格、応募方法、演題応募要領は以下に記載する。ただし、地方会主催の当番校会長の裁定をもって変更は許可されるものとする。

①応募資格

日本循環器学会員であり、各地方会開催日において学生・初期研修医の方。 東北地方会において過去に学生・初期研修医 AWARD を受賞した者は、再応募はできない。

②対象演題

筆頭演者である応募者が担当医または担当学生として治療を行った症例報告で、演題募集締切日までに他の学会で未発表かつ印刷公表されていない演題内容を対象とする。他の学会賞への応募と重複しないこととし、1施設2題(ただし1科1演題)までの応募とする。

③選考方法

地方会演題募集時に学生・初期研修医 AWARD 応募希望を募り、地方会開催時には希望演題のみを対象とするセッションを設ける。選考委員は本セッションに参加し、引き続き開催される審査委員会において厳重な審査を行う。なお、希望演題数が5題を超えた場合は、予め選考委員による第一次審査を行う。

④応募方法

一般演題応募と同様に日本循環器学会ホームページより登録。学生・初期研修医 AWARD 応募希望者は応募資格を確認のうえ、「学生・初期研修医 AWARD に応募 する」にチェックを入れ応募する。

(5)賞

最優秀賞1名(賞金10万円)および優秀賞若干名(賞金5万円)と表彰状。同点の場合は要検討とする。

⑥締切り

- 一般演題締切日と同日とする。一次審査後採択されなかった場合は、自動的に一般演題に採択される。
- 3) 研修医 AWARD 選考委員会は会長校の准教授を選考委員長として、各県大学の循環器 内科准教授/講師/助教より6名と、大会長が選出する6名の選考委員(循環器専門 医研修施設より選出)の計12名で構成される。ただし、宮城県に於いては東北大学と 東北医科薬科大学の准教授が交代で務めることとする。

(その他)

- 34. 会員への印刷物送付等の必要が生じた場合、本会へ「会員名簿・あて名作成依頼書」を提出して会員名簿及び宛名ラベルを請求することができる。会員情報のデータでの受け取りは原則不可とするが、例外的に申請する場合は、誓約書に会長の署名及び捺印が必要となる。
- 35. 地方会開催校については、公平を期すため各県で順番に開催する。なお、その順番等の変更については、支部役員会にて決定する。

附則

- 1) この要領は、平成27年2月1日から試行期間とし、平成28年4月1日から完全実施とする。
 - この要領改正は、支部長の判断に基づき、支部事務局にて変更して良い。なお、変更時は、支部役員会での追認が必要となる。

一般社団法人日本循環器学会 東北支部 JCS-ITC 講習会事務要領

この事務要領は、一般社団法人日本循環器学会東北支部事務局において JCS-ITC 事務業務 (受講料受付・謝金や立替金の精算 等)を行うために必要な事項を規定する。

日本循環器学会は AHA(アメリカ心臓協会)と契約し、心肺蘇生法の教育を行う JCS-ITC(国際トレーニングセンター)を開設している。循環器専門医は心停止や心停止前後での蘇生や心拍再開後の集中治療を必要としていることから、AHA ACLS(二次救命救急措置)の資格取得を受験の条件としている。

また、医療従事者や一般市民向けのコースも開催しており、地域の救命率向上を目指していることから支部にてコース運営を行っており、それに付随する事務業務も支部事務局にて行っている。

※支部運営内規 第 6 条 3 にて定められる JCS-ITC 業務担当幹事はファカルティから選出される。

ファカルティは各コースの運営統括責任者であり、新たなインストラクターを教育する立場である。

- 1. 年 4 回のインストラクター一覧更新時に、本会事務局より受領したインストラクター 一覧を支部長ならびに幹事に提出すること。
- 2. コース開催日程は、支部ホームページに掲載することとする。
- 3. コース募集期間中、コースディレクター(以下、CD と略す)と連携を取り、受講者からの問い合わせ対応を行うこと。
- 4. 下記内容についての受講者への連絡を行うこと。 採択通知、追受講者の代理登録(CDより指示があった場合)、会場変更、コース中止
- 5. 講習会管理システムから受講者を確認し、受講者からの受講料入金確認を行うこと。 規定日までに入金が確認できない場合には、入金の督促を行うこと。
- 6. 受講者より受講料領収書の発行依頼があった場合の発行手続きを行うこと。
- 7. 支部担当者が交代する場合には業務内容を明確の上、後任者へ引継ぎを行い、業務に 支障が生じないようにすること。また支部担当者が急病等で業務を行えない場合は、 事務局担当幹事より JCS-ITC 業務幹事に速やかに連絡をし、JCS-ITC 業務幹事と支部 長において今後の対応を検討する、こと。
- 8. 業務管理を明確化することを目的として、JCS-ITC業務専用の口座を開設してよい。
- 9. 専用口座は、通帳管理者・印鑑管理者・キャッシュカード使用者(作成している場合のみ) を明確にし、一覧にして支部長へ提出しなければならない。(一覧に変更が生じた場合 は随時、見直しを行い更新の上、提出する。)
- 10. 専用口座の通帳、印鑑は、使用者が施錠出来る場所に必ず保管しなければならない。 また、キャッシュカード、パスワードについては使用者が変更となる度に変更しなければならない。
- 11. コース開催時にコースディレクター等が昼食代等の立替精算をした場合、必ず領収書 (レシート可)を入手し、何を購入し、何に利用したのか、誰が立替えしたのか、分かるように領収書に記載(メモ書き可)の上、支部事務局へ提出すること。なおコース 運営が参加者の受講料から成り立っていることを鑑み、不必要な経費支出は行っては ならない。

- 12. コース終了後、コースディレクターは参加インストラクター・タスクと各自立替えしたコース開催地までの交通費について、支部事務局へ報告しなければならない。支部 事務局はコースディレクターからの報告に基づき、インストラクター・タスク一覧を 作成する。
- 13. 各コースディレクターがコースに必要な資金を前に仮払金として引出して使用する場合は、予め仮払金申請書を作成し、JCS-ITC業務担当幹事のメール承認を要する。 なお、JCS-ITC業務担当幹事がコースディレクターとなる場合は、支部長のメール承認を要する。
- 14. 経費精算において、振込対応では無く、上記の仮払金を活用し現金にて謝金精算や立 替精算を行う場合は、必ず受領者から支部宛ての領収書を頂き、証憑として支部事務 局へ提出しなければならない。
- 15. 支部事務局は、インストラクター・タスク一覧、提出された旅費申請書、領収書等に基づき、謝金(交通費・宿泊費含む)・立替金の精算を行う。また謝金源泉税分の納税を行う。(謝金金額については本会、救急医療委員会において定められたとおりとする。また旅費申請書、領収書等の証憑が無いものの精算は出来ない。)
- 16. 支部事務局は、収入・経費を取纏め(漏れが無いこと、経費使用理由等が明確であること等を再確認)の上、本部事務局へ提出し会計ソフトへの入力を依頼する。
- 17. JCS-ITC 講習会運営専用口座で余剰金が 1000 万円を超えた場合、支部の JCS-ITC 講習会専用口座に資金を移行する。

附則

- ・この要領は、平成 27 年 2 月 1 日から試行期間とし、平成 28 年 4 月 1 日から完全実施とする。
- ・この要領改正は、支部役員会での決定を必要とする。

日本循環器学会東北地方会 Young Investigator's Award 会則

- 1. 日本循環器学会東北支部は、東北地区の循環器病学の発展と優秀な若手循環器専門医の 育成を目的として、「日本循環器学会東北地方会 Young Investigator's Award」(東北 地方会 YIA)を設ける。
- 2. 本会則は平成 21 年 2 月 14 日に開催される第 147 回東北地方会から有効とし、本会則の変更は総会で審議・決定される。
- 3. 東北地方会 YIA の応募資格、応募方法は演題応募要領に記載するが、地方会主催の当番 校会長の裁定をもって変更は許可されるものとする。
- 4. YIA 選考委員会は大会長を選考委員長として、各県大学の循環器内科教授6名と大会長が選出する6名の選考委員の計12名で構成される。選考委員に代理を置く場合は、教授選考員の場合は教室の准教授または講師に委託し、その他の6名の選考委員については大会長が再度選出する。

日本循環器学会東北地方会 学生・初期研修医 AWARD 会則

- 1. 日本循環器学会東北支部は、東北地区の循環器病学の発展と優秀な若手循環器専門医の 育成を目的として、「日本循環器学会東北地方会 学生・初期研修医 AWARD」を設ける。
- 2. 本会則は平成31年6月1日に開催される第168回東北地方会から有効とし、本会則の変更は総会で審議・決定される。
- 3. 東北地方会 学生・初期研修医 AWARD の応募資格、応募方法は演題応募要領に記載するが、地方会主催の当番校会長の裁定をもって変更は許可されるものとする。
- 4. 学生・初期研修医 AWARD 選考委員会は会長校の准教授を選考委員長として、各県大学の循環器内科循環器内科准教授/講師/助教より6名と、大会長が選出する6名の選考委員(循環器専門医研修施設より選出)の計12名で構成される。ただし、宮城県に於いては東北大学と東北医科薬科大学の准教授が交代で務めることとする。

日本循環器学会東北地方会 Young Investigator's Award(東北地方会 YIA)

演題応募要領

趣旨

日本循環器学会東北支部は、東北地区の循環器病学の発展と優秀な若手循環器専門医の育成を目的として、「日本循環器学会東北地方会 Young Investigator's Award」(東北地方会 YIA)を設け、毎回の東北地方会において、優秀演題の表彰を行う。

応募資格

日本循環器学会員であり、各地方会開催日において満35歳以下の方。

東北地方会において過去に YIA を受賞した者は、最優秀賞・優秀賞を問わず、同じ部門への再応募はできない。他部門への申請は可とする。

対象演題

日本循環器学会東北地方会で行われた循環器学に関する臨床・基礎研究、且つ、症例報告を受け付ける。発表時点で印刷公表されていない演題内容を対象とする。ただし、応募者は筆頭演者でありその内容に中心的役割を果たしたものであることを必要とする。他の学会賞への応募と重複しないこととし、各部門毎に1施設2題(ただし1科1演題)までの応募とする。本 YIA は症例発表部門と研究発表部門それぞれで選考と表彰を行う。

選考方法

地方会演題募集時に YIA 応募希望を募り、地方会開催時には希望演題のみを対象とする YIA セッションを設ける。選考委員は本セッションに参加し、引き続き開催される YIA 審 査委員会において厳重な審査を行う。症例発表部門と研究発表部門それぞれで最優秀賞 1 名および優秀賞若干名選定する。なお、希望演題数が各部門 5 題を超えた場合は、予め選考委員による第一次審査を行う。

会長奨励賞

YIA 希望演題の内、一般病院の演題から1題を会長奨励賞としてあらかじめ選出しておき、 当日表彰が行われる旨を演者に通知する。ただし、この演題がYIA 最優秀賞または優秀賞 に選出された場合はYIA を優先し、その回の会長奨励賞はなしとする。

応募方法

一般演題応募と同様に日本循環器学会ホームページより登録。Young Investigator's Award 応募希望者は応募資格を確認のうえ、「YIA に応募する」にチェックを入れ、症例発表部門と研究発表部門のどちらに応募するかを予め明記する。

賞

部門毎に最優秀賞1名(賞金10万円)および優秀賞若干名(賞金5万円)と表彰状。同点の場合は要検討とする。

会長奨励賞は1名(賞金5万円と表彰状)。

締 切

一般演題締切日と同日とする。一次審査後採択されなかった場合は、自動的に一般演題に 採択される。

日本循環器学会東北地方会 学生·初期研修医 AWARD 演題応募要領

趣旨

日本循環器学会東北支部は、東北地区の循環器病学の発展と優秀な若手循環器専門医の育成を目的として、「日本循環器学会東北地方会学生・初期研修医 AWARD」を設け、毎回の東北地方会において、優秀演題の表彰を行う。

応募資格

日本循環器学会員であり、各地方会開催日において学生・初期研修医の方。 東北地方会において過去に学生・初期研修医 AWARD を受賞した者は、再応募はできない。

対象演題

第 168 回東北地方会では筆頭演者である応募者が担当医または担当学生として関与した症例で、演題募集締切日までに他の学会で未発表かつ印刷公表されていない演題内容を対象とする。他の学会賞への応募と重複しないこととし、1 施設 2 題(ただし 1 科 1 演題)までの応募とする。

選考方法

地方会演題募集時に学生・初期研修医 AWARD 応募希望を募り、地方会開催時には希望演題のみを対象とするセッションを設ける。選考委員は本セッションに参加し、引き続き開催される審査委員会において厳重な審査を行う。なお、希望演題数が 5 題を超えた場合は、予め選考委員による第一次審査を行う。

応募方法

一般演題応募と同様に日本循環器学会ホームページより登録。学生・初期研修医 AWARD 応募希望者は応募資格を確認のうえ、「学生・初期研修医 AWARD に応募する」にチェックを入れ応募する。

當

最優秀賞1名(賞金10万円)および優秀賞若干名(賞金5万円)と表彰状。同点の場合は要検討とする。

締 切

一般演題締切日と同日とする。一次審査後採択されなかった場合は、自動的に一般演題に 採択される。

第 169 回日本循環器学会東北地方会 YIA 審査委員

(敬称略)

青 森 弘前大学大学院医学系研究科 循環器腎臓内科学講座 青森県立中央病院	教 病院	授 徒	富田藤野	泰史 安弘
岩 手 岩手医科大学 内科学講座循環器内科分野 岩手県立二戸病院 循環器内科	教 科	授長	森野 西山	禎浩 理
秋 田 秋田大学大学院医学系研究科 循環器内科学講座 平鹿総合病院 循環器内科	教 科	授長	渡邊武田	博之智
山 形 山形大学医学部 内科学第一講座 山形県立中央病院 循環器内科	教 科	授長	渡辺 松井	昌文 幹之
宮 城 東北大学 循環器内科 仙台オープン病院 循環器内科	教 主任部	授 『長	下川浪打	宏明 成人
福 島 福島県立医科大学 循環器内科学講座 大原綜合病院	教 副院	授 徒	竹石 石橋	恭知 敏幸

第 169 回日本循環器学会東北地方会 学生·初期研修医 AWARD 審查委員

(敬称略)

		(句)	(削崎)
青 森 弘前大学大学院医学系研究科 循環器腎臓内科学講座 青森県立中央病院 循環器科	准教授 副部長	佐々え櫛引	吾真才 基
岩 手 岩手医科大学 内科学講座循環器内科分野 岩手県立中部病院 循環器内科	教 授 科 長	伊藤 齊藤	智範 秀典
秋 田 秋田大学大学院医学系研究科 循環器内科学講座 秋田厚生医療センター 循環器内科	准教授 診療部長	飯野 松岡	健二 悟
山 形 山形大学医学部 内科学第一講座 山形市立病院済生館 循環器内科	准教授 科 長	渡邉宮脇	哲洋
宮 城 東北大学 循環器内科学 仙台医療センター 循環器内科	講 師総括診療部長	高橋 篠崎	潤毅
福 島 福島県立医科大学 循環器内科学講座 白河厚生総合病院	准教授 副院長	中里斎藤	和彦富善

日本循環器学会東北地方会(令和元年11月1日現在)

	_			.40-6	,,,,,,	151070			•
副 建	野 長 長 事 段	下竹下下竹伊藤木	宏明 恭知 宏明(東北大 恭知(福島県 貞嘉(公立) 佳克(東北大	学/支部 立医科之 田綜合和	大学) 病院/その他?			野/東日本地 医科大学/理事 科大学)	
名誉特	別会員	富田	智子(みやぎ 泰史(弘前大 達也(東北医 邦男 宏	県南中村 学)	亥病院/女性:	分野) 渡辺 渡邊 中村	博之(秋田大		
名誉习	支部員	青伊岡金小佐田 世 田巻	孝明 政昇健治直一均完雄一治淳実	芦猪小木後高布室柳川岡野島藤松川井澤	紘英幸幹敏 秀輝一二彦博和滋徹一行	立木 野崎 元村	公男 楷 英二	石大金小佐田前盛渡出和澤熊々中原 田本・元和英・元和英・元和英・銀の一次の一次の一次の一次の一次の一次の一次の一次の一次の一次の一次の一次の一次の	
支部言	平議員 森		ごと五十音順、 直樹	○印は 木村	社員(旧:全 正臣	全国評議員 櫛引	i) 基	佐々木真吾	
Ħ	不不	富田	泰史	長内	智宏	花田	裕之	福田幾夫	
岩	手	安孫	安弘子明彦	森石田	康宏大	横田 ○伊藤		大和田真玄	
		○ 小松 田代	隆 敦	佐藤田中	衛 文隆	瀬川 中村	郁夫 明浩	高橋 智弘 蒔田 真司	
秋	\Box	房崎 阿部	芳久	〇森野 飯野	禎浩 健二	小坂		齊藤崇	
		佐藤 寺田	誠 健	鈴木 照井	智人 元	鈴木 中川		田村 芳一 長谷川仁志	
Ш	形	松岡 有本	悟 貴範	○渡邊 池田3	博之 こずえ	池野第	於一郎	内田 徹郎	
		金谷		○ 久保E 菅原	B 功	貞弘 須藤	光章	佐藤 匡 高橋 大	
		西山宮本	悟史	廣野 宮脇	工 摂 洋	福井 ○渡邉	昭男哲	松井、幹之渡辺、昌文	
宮	城	○伊藤	健太	伊藤	貞嘉 3	大原	貴裕	加賀谷 豊	
		熊谷 西條	浩司 芳文	上月坂田	正博 泰彦	小丸 佐藤	公雄) 齋木 佳克佐藤 匡也	ı
		篠崎 髙橋	毅 潤	〇下川 建部	宏明 俊介	白戸〇富岡	崇 智子 ²	杉村宏一郎 中野 誠	
福	島	後岡原 石田	太郎 隆史	羽尾 石橋	清貴 敏幸	〇堀内 金城	久徳 貴士	山家 智之 國井 浩行	
		○齋藤 ○竹石	修一恭知	斎藤 武田	富善寛人	-/- 杉 中里	正文和彦	杉本 浩一 八巻 尚洋	
		○横山	斉 ¹	義久	精臣	1. 外科	4分野、2.女性	≑分野、3.そ(の他の分野
ダイバ	ーシティ推	進委員() 木村	日男女共同参正臣(青森)	画委員) 加藤	*委員長 千里(青森)		至希子(岩手)	八木 卓也	
		伏見	悦子 (秋田) 智子 (宮城)	飯野	貴子(秋田)	池田こ	こずえ (山形) 具希子 (福島)	有本 貴範	(山形)
会計			信正	猪岡	英二		元句」(佃与)	び 止又	(福島)
幹	事	JCS-I	事務局担当幹事 TC 講習会担旨 :坂田 泰彦	当幹事:	花田 裕之		江中央病院)		
		113		\/\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	- /				